

募集要項

2024年度「インターンシップ専門人材研修会」

【実践編:STEP2】(8期)

【発展編:STEP3】(7期)

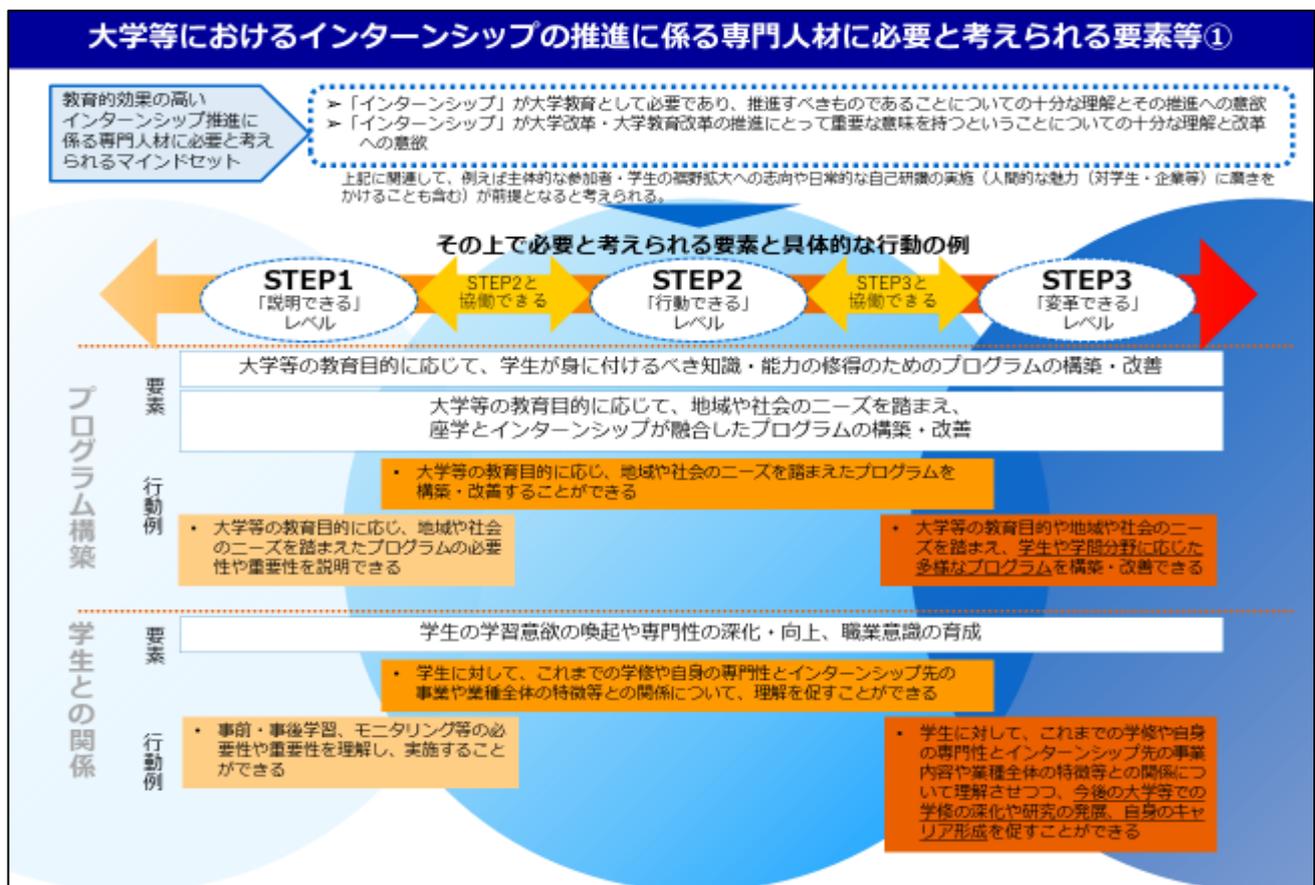
我が国のインターンシップの基本方針である、文部科学省、厚生労働省、経済産業省「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(いわゆる「三省合意」)が2022年6月に改正され、学生のキャリア形成支援活動として4類型化されました。文部科学省からも「インターンシップ」と称して実施している科目の点検・整理と、必要に応じての科目名称の変更等が要請されています。

企業の採用活動の早期化が加速するなか、今後のインターンシップをはじめとする学生のキャリア形成支援のあり方についての検討は、各大学において重要なテーマになっていると思われます。

また、文部科学省高等教育局専門教育課より「大学改革としてのインターンシップの推進に係る専門人材の育成・配置について」(2018年)が発出され、専門人材の育成・配置の周知が図られました。

このような社会的、政策的動向も踏まえ、一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム(CIAC)は、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)と協力し、インターンシップ専門人材の育成を進めてきました。上記の文部科学省文書において、インターンシップ専門人材の育成枠組み(STEP1~STEP3)が提示されています。(下図参照)

文部科学省「大学改革としてのインターンシップの推進に係る専門人材の育成・配置について」



この枠組みに準拠し、【STEP1】（「説明できる」レベル）は JASSO が開催する「インターンシップ専門人材セミナー～基礎編～」が担っています。【STEP2】（「行動できる」レベル）、【STEP3】（「変革できる」レベル）については、CIAC が「インターンシップ専門人材研修会」によって担います。【基礎編：STEP1】【実践編：STEP2】【発展編：STEP3】と体系的なプログラムを段階的に受講することにより、インターンシップに関する知識、スキル、思考等を習得できます。

本研修会においては、産学協議会がインターンシップとして提示定義している「タイプ3」「タイプ4」に限定せず、「タイプ1」（オープン・カンパニー）、「タイプ2」（キャリア教育）も含め「インターンシップ専門人材」という名称を使用しています。

本研修会 5つの特徴

- ◆ 文部科学省が提示する枠組みに基づいた体系的なプログラムにより、**インターンシップに関する知識、スキル、思考等を段階的に習得することができます。**
- ◆ 自大学等のインターンシップを客観的に振り返ることができ、**教育的効果の高いプログラムへの改善、実施、更には今後の新たなプログラム構築につながる実践的な内容**です。
- ◆ グループワークが中心であるため、他大学からのコメント、フィードバック、事例を通して、**インターンシップに関する課題について深く議論し、新たな知見、視点、発想が得られます。**
- ◆ 高等教育、インターンシップ、人材育成に精通する講師によるファシリテートで、**新たな情報や出会いを楽しみながら参加者相互で学び合い、日々の業務に対する向き合い方を考える機会**になります。
- ◆ **日本で唯一のインターンシップ専門人材の資格認定機関**であり、過去の参加者は 200 名を超えます。参加者の満足度も 97%と高く、**他に類を見ない経験と実績にもとづく充実した研修内容**です。

開催概要

1. **開催日時** 【実践編：STEP2】【発展編：STEP3】ともに2日間のプログラムです。

【実践編：STEP2】

日 程		時 間
1日目	2024年11月22日（金）もしくは 11月27日（水）	両日とも 9:30～17:00
2日目	2024年12月10日（火）もしくは 12月13日（金）	

※1日目、2日目の両日ともに内容は同じです。ご都合のよいどちらか1日にご参加ください。

【発展編：STEP3】

日 程		時 間
1日目	2025年2月7日（金）	両日とも 9:30～17:00
2日目	2025年2月14日（金）	

2. **開催方法** Zoomによる同時双方向型オンライン開催です。

3. **募集定員** 定員は、各回30名です。 ※定員に達し次第、受付を終了いたしますのでご了承願います。

4. 受講対象者（条件）

【実践編：STEP2】 原則として以下①～⑤全てに該当する方

- ① JASSO 主催「インターンシップ専門人材セミナー ～基礎編～」の受講を修了している（過年度でも可）もしくは、同等の経験、実績等を有している（自己評価・認識で構いません）
- ② 自大学等のインターンシップ（企画・立案、運営、授業等）に概ね1年以上携わっている
- ③ 自大学等のインターンシップに関する内容、資料等（シラバス等）を共有できる（可能な範囲で可）
- ④ 高等専門学校、短期大学、大学等の高等教育機関に所属している教職員
- ⑤ 事前課題を完了し、2日間全てのプログラムに出席できる

【発展編：STEP3】 原則として以下①～⑤全てに該当する方

- ① CIAC 主催「インターンシップ専門人材研修会【実践編：STEP2】」の受講を修了している（過年度でも可）
- ② 自大学等のインターンシップ（企画・立案、運営、授業等）に概ね3年以上携わっており、プログラムの構築、改変に携わることのできる立場にある
- ③ 自大学等のインターンシップに関する内容、資料等（シラバス等）を共有できる（可能な範囲で可）
- ④ 高等専門学校、短期大学、大学等の高等教育機関に所属している教職員
- ⑤ 事前課題を完了し、2日間全てのプログラムに出席できる

5. 修了証/認定書の発行

【実践編：STEP2】 全プログラムを受講された方に「修了証」を発行します。

【発展編：STEP3】 全プログラムを受講された方に「修了証」を発行します。

【「CIAC 認定インターンシップコーディネーター」登録について】

「発展編：STEP3」を修了された方のうち、一定の条件に同意し希望する方には、「CIAC 認定インターンシップコーディネーター」として認定し、登録ができます。（別途手続きが必要になります）

登録者は、名称及びロゴマークの使用（名刺等への記載等）が可能になります。

2024年4月時点で、82名が登録しています。



6. インターンシップ専門人材コミュニティへの参加

CIAC では、インターンシップ専門人材の社会的認知度の向上、継続学習、ネットワーク構築を進めています。そのために、本研修会の参加者には、以下のようなインターンシップ専門人材コミュニティへの参加、成果発表、CIAC 主催プログラムへの参加機会を提供しています。

- 参加者限定のグループメールに登録（任意）することにより、インターンシップに関する最新情報、参加者からの様々な情報提供を受けることができます。
- 参加者限定のブラッシュアップ研修会、CIAC コラボカフェ、ランチタイムミーティング等に参加することができます、その後の継続学習の機会を得ることができます。
- セミナー、フォーラム等への登壇、高等教育専門誌への寄稿等、自大学の取組成果を発信する機会を得ることができます。
- CIAC が企画・実施するプログラムへ参加する機会を得ることができます。
- 他大学との連携、地域連携、プログラム開発、学内研修等、CIAC によるコンサルテーション、サポートを受けることができます。

実践編：STEP2 「行動できる」レベル

**自大学におけるプログラムを客観的に総点検し、できている点、改善すべき点を明確にします！
直ぐに活用できるコンテンツ等を提供します！**

【到達目標】

- ① 教育的効果の高いインターンシップの実施・運営のポイントを理解し、自大学の現行プログラムを客観的に評価・点検することで改善・改良することができる
- ② 高等教育の現状や政策的動向を把握し、その中で自大学の理念、特色、位置づけを認識することで、組織上、プログラム上の課題を抽出し、地域や社会のニーズを踏まえた改善案を提案、実行することができる
- ③ インターンシップを担当する意義や大学全体における役割を理解し、学内外の先進的事例を援用しながら率先して取り組み、高い成果を生み出すことができる
- ④ 教職協働の視点で、学内の他部署とネットワークを形成し、どの部署と協働すると効果的に業務が遂行できるか把握し、必要に応じて他部署と連携、調整を図りながら意欲的に業務を遂行することができる
- ⑤ 受入企業等と良好な関係を継続してプログラムを実行するとともに、企業、大学双方の目的をすり合わせ、新たな受入企業を開拓することができる

1日目

■オープニング：研修の目的、進め方等

【セッション①】 担当：川島 啓二

大学教育とインターンシップの問題構造

- ・高等教育の政策的動向の理解
- ・インターンシップ、キャリア教育の政策的な取り扱いの流れ
- ・産学協働教育と大学教育の結びつき

【セッション②】 担当：松高 政

大学教育におけるインターンシップの意義

- ・これまでのインターンシップの現状と課題
- ・自大学における実施目的・教育的効果の明確化
- ・「三省合意」改正、4類型化に対する対応と現状

【セッション③】 担当：佐々木 ひとみ

「インターンシップ専門人材」の意義と役割

- ・大学教職員としての立ち位置と関わり方
- ・「インターンシップ専門人材」が抱える課題と問題意識
- ・「インターンシップ専門人材」としての意識、心構え

【イブニングセッション（情報交換会）】

2日目

【セッション④】 担当：松高 政

教育的効果を最大化するプログラム設計

- ・学修プログラムの全体設計
- ・事前・事後学習のプログラム
- ・就業期間のモニタリングとフォロー

【セッション⑤】 担当：上野 恵美

企業との協働関係構築・維持するためのポイント

- ・「教育的効果」と「企業メリット」を両立させるためのプログラム設計
- ・「三省合意」改正に対応した企業との関係
- ・就業期間中のリスク管理

【セッション⑥】 担当：川島 啓二

インターンシップのプロセスでのフィードバック

- ・フィードバックとは何か：改善のための配慮と働きかけ
- ・フィードバックスキルを身につける：モチベーションを高めるための表現と方法
- ・コミュニケーションの全体像とフィードバックリスクリングを促す社会的枠組み

まとめ：学びの総括と行動計画の立案

■クロージング：修了式

他大学との差別化につながる新たなプログラムを考えます！
効果的な提案のポイントを学び具体的な行動に結びつけます！

【到達目標】

- ① 教育的効果の高いインターンシップの実施・運営のポイントを理解し、大学（教育）改革につながる新たなプログラムを企画立案・提案し、実施することができる
- ② 高等教育の現状や政策的動向を批判的に分析・検討し、その中で自大学の理念、特色、位置づけ、課題を抽出し、地域や社会のニーズを踏まえた先導的・革新的プログラムを作り出し、実行することができる
- ③ 大学全体の課題を抽出し、改善のためのデータ、情報を収集・分析し、教育目的に応じたインターンシップ推進の具体案を策定・実行する上で、指導的役割を果たし高い成果を出すことができる
- ④ 執行部、関係部署の責任者が納得する説明ができ、他部署と合意形成を図り自他のモチベーションを高めながら全学的な視点でリーダーとして業務を遂行することができる
- ⑤ 受入企業等と良好な関係を継続し、新たな受入企業を開拓するとともに、受入企業の課題を把握し、課題解決の方法を考え、協働して実行することができる

1日目	2日目
<p>■オープニング：研修の目的、進め方等</p> <p>【セッション①】 担当：川島 啓二 高等教育の最新動向の分析と将来構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等教育及び関連する諸政策のキーワード理解と動向分析、それらを総合的に理解する枠組形成 ・ 高等教育・インターンシップの機能的再編成 ・ Society5.0、DX 時代の到来を踏まえたインターンシップや産学協働教育 <p>【セッション②】 担当：松高 政 大学教育におけるインターンシップの可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「三省合意」改正を踏まえたインターンシップの今後の展開 ・ 「大学改革としてのインターンシップ」の捉え方 ・ 自大学のインターンシップの捉え直しとインターンシップ専門人材としての立ち位置 <p>【セッション③】 担当：原 正紀 大学教育とインターンシップのイノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改革推進の理解と必要性 ・ 自大学の現状に関する情報収集と整理・分析 ・ 分析ツールの理解と選択 <p style="text-align: center;">【イブニングセッション（情報交換会）】</p>	<p>【セッション④】 担当：原 正紀 自大学の課題と目標の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自大学の現行プログラムとありたい姿 ・ 自大学の課題解決のための具体的アイデア立案 ・ イノベーションの実行戦略立案 <p>【セッション⑤】 担当：佐々木 ひとみ 学内意見の形成と協力体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 執行部への理解促進と提案のポイント ・ 他部署との連携のあり方 ・ 現場と執行部との協力体制の構築 <p>【セッション⑥】 担当：川島 啓二 インターンシップ専門人材としての価値観と倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学改革における「専門的職員」の現状と課題 ・ 「インターンシップ専門人材」の専門性 ・ 専門人材としての倫理的行動規範の在り方 <p>まとめ：学びの総括と行動計画の立案</p> <p>■クロージング：修了式</p>

8. 講師

インターンシップ、キャリア教育、高等教育、大学経営、人材育成に精通した講師がファシリテートします。

松高 政 (CIAC 代表理事/京都産業大学 経営学部准教授) ※



教育サービス系企業において、大学におけるキャリア教育に関する調査研究、企画開発に携わり 2007 年 4 月より京都産業大学に在職。文科省「インターンシップの推進等に関する調査研究協力者会議」委員、経産省「教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査委員会」委員等を多数歴任。JASSO「インターンシップ専門人材セミナー～基礎編～」メインファシリテーター。主な編著書『インターンシップの教科書』『大学教育を変える、未来を拓くインターンシップ』等。

川島 啓二 (CIAC 理事/京都産業大学 共通教育推進機構教授/初年次センター長)



京都大学大学院教育学研究科修士課程修了。文部科学省国立教育政策研究所高等教育研究部長、九州大学基幹教育院教授・次世代型大学教育開発センター長を経て、2017 年 9 月から、京都産業大学共通教育推進機構教授/初年次教育センター長。専門は高等教育論。FD や大学組織、学生支援について研究。文部科学省大学教育再生加速プログラム委員会 (AP) 委員、日本学生支援機構「学生支援の取組状況に関する調査協力者会議」主査等を歴任。

原 正紀 (CIAC 理事・事務局長/株式会社クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役社長)



早稲田大学法学部卒業後、製造業を経てリクルートへ入社し企業や官公庁、大学等へ提案活動を行った後に起業。多数の企業の成長・変革や官公庁や教育機関のプロジェクト受託も行う。著書は『定年後の働き方は 40 代で決めなさい』『採用氷河期』など 10 冊以上、年間講演は 50 回以上。「キャリア教育アワード」等国や自治体の委員経験多数。高知大学客員教授、筑波大学講師、(特非) キャリアコンサルティング協議会事務局長、(一社) 留学生支援ネットワーク理事、日商雇用政策懇談会座長代理。

佐々木 ひとみ (CIAC シニアコンサルタント/学校法人東京家政学院理事・同大学特任教授) ※



上智大学文学部卒業、筑波大学大学院教育研究科修士課程修了。元早稲田大学常任理事・元キャリアセンター長。早稲田大学で長年キャリア支援に取り組む。同大の全学部共通科目「インターンシップ」授業の立ち上げ時には、担当教員の調整から企業開拓、提出書類のフォーマット作成までプログラム全体の形を整備した。その後、キャリアセンター長としてキャリア事業統括を行うと同時に、経団連の産学協議会委員として、今回のインターンシップ・プログラムの改訂にも関わる。

上野 恵美 (CIAC プログラムコーディネーター/下関市立大学教養教職機構准教授・附属リカレント教育センター長) ※



大学卒業後、地方銀行入行。退職後、自営業を経て、ジョブカフェで大学生を中心とした若年者に対する就職支援を行う。法人化 1 期生として下関市立大学に入職し、キャリアセンター立ち上げ、キャリア教育の構築を行う。また、16 年間インターンシップ実施運営に携わる。2022 年度末退職後、2023 年度より教員として採用され、キャリア教育、インターンシップを担当。リカレント教育センター長として社会人教育にも力を入れる。CIAC 認定インターンシップコーディネーター。

※印は令和 6 年度日本学生支援機構キャリア教育・就職支援事業に係る協力者

9. 受講申込等

(1) 申込方法

・以下の申込受付フォームよりお申込みください。

申込受付フォーム : <https://forms.gle/vt8kUnA61hibKxGt5>

(2) 申込締切 【実践編：STEP2】 2024 年 11 月 8 日 (金)

【発展編：STEP3】 2025 年 1 月 24 日 (金)

(3) 受講料 【実践編：STEP2】【発展編：STEP3】 各お一人 25,000 円 (税込)

※申込受付後に、振込み等の詳細についてご連絡いたします。

(4) キャンセルポリシー

- ・「開催日の3日前 17:00 まで」は、キャンセルを無料（但し、振込手数料を差し引いた金額）でお受けします。上記日時を過ぎた場合は、全額をご負担いただきます。ご了承ください。

(5) イブニングセッション（情報交換会）

- ・1 日目終了後に1 時間程度のイブニングセッション（情報交換会）を開催いたします。各大学の課題、意見交換、参加者同士のネットワーク構築の機会として開催いたします。可能な限りご参加ください。



「2024 年度インターンシップ専門人材研修会【実践編】【発展編】」の開催にあたって －専門人材育成の考え方と体系的な育成システムの構築について－



独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部長 山本 有香 様

時代が昭和から平成へと移り変わると、国際化・情報化の進展、産業構造の変化など、日本の社会・経済の変化に伴って、独創的な発想ができる能力、自ら主体的に考え問題を発見し解決できる能力、自己責任で行動できる能力などを備えた人材の育成が重要となり、産学連携による人材育成の一形態であるインターンシップが注目されるようになりました。このような流れを受け、1997（平成9）年、文部省、通商産業省及び厚生省は、連名で「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」を发出し、この文書は後に「三省合意」と呼ばれるようになりました。

その後、「三省合意」は、軽微な改正を行いつつ踏襲されてきましたが、令和の時代に入ると、コロナ禍の影響もあって産業や経済の構造的変化や雇用形態の多様化・流動化が急速に進み、就職活動の方法にも変化が見られたことから、「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組み」を4つの類型に整理し、これを受けて文部科学省、厚生労働省及び経済産業省は、2022（令和4）年に「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」（いわゆる「新三省合意」）を发出しました。ここで、インターンシップは「学生がその仕事に就く能力が自らに備わっているかどうかを見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験を行う活動」と定義が明確化されました。

教育的効果の高いインターンシップを推進するためには、大学等、学生、企業の三者が当該取組みの教育的意義や内容について共通認識を構築することが不可欠です。そして、この共通認識を基礎としつつ、大学等においてインターンシップを推進する専門的な人材がインターンシップ専門人材です。インターンシップ専門人材の機能には、大きく分けて、教育的効果の高いプログラムの構築・運営と、大学等と企業との調整に基づく学生と企業のマッチングの2つがあります。平成30年5月31日付け文部科学省事務連絡「大学改革としてのインターンシップの推進に係る専門人材の育成・配置について」（以下「事務連絡」）において、これらの機能に基づく具体的行動例がレベル別に示されています。

これらの人材を効果的に育成するためには、関係機関が連携して体系的な育成システムを構築し、提供することが求められており、日本学生支援機構（JASSO）と一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム（CIAC）が、役割分担を明確にしつつ密接な連携を取って実施しています。具体的には、事務連絡が提示している専門人材に必要とされる行動例の各ステップ（STEP1からSTEP3）のうち、STEP1（基礎編）をJASSOが、STEP2（実践編）及びSTEP3（発展編）をCIACが担当しています。

各大学等におかれましては、上記の趣旨を是非ご理解いただき、インターンシップの推進、専門人材の育成・配置に、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

過去の参加者からの感想

参加者満足度は毎年 97%!!

他大学の事例を知り、本学の課題が明確となった。次年度のプログラム改定点を職員と教員にどのような資料を用いて説明するとよいか整理できた。(地方私立大学・教員)

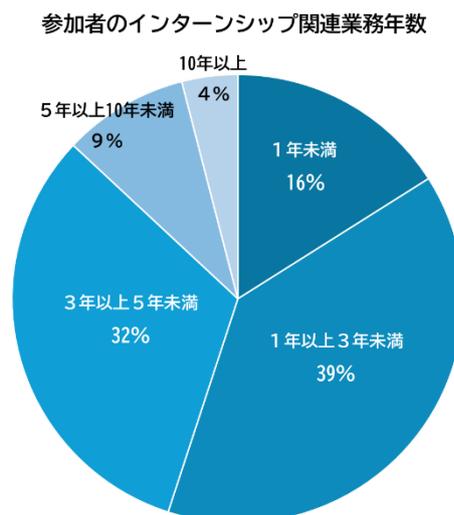
企業・学生・大学の理解者として、時代の変化に合わせて国の方針に添って進化させるべきことが学べた。またインターンシップ以外にも業務があり、企業・学生の間で業務過多の状況で、他大学でも同様の環境で孤軍奮闘されている仲間がいることに勇気をいただきました。(地方国立大学・職員)

三省合意の内容のみならず、合意に至った経緯・過去の流れについても詳しく知ることができ、新たな情報を得ることができました。また様々な問題を参加者の皆様と共有することで、現在抱えている問題の解決に向けた道筋が見え始めました。(地方私立大学・職員)

最先端の情報や取り組み事例をお持ちの先生方や他大学の方から、知識と刺激を沢山いただき、自学での改革に向けた一歩を踏み出すきっかけをいただきました。インターンシップ担当とし、これほどインターンシップに向き合った時間はありませんでした。今回改めて考えることができました。他大学との情報交換をさせていただき、発見や気づきを得ることができました。(地方私立大学・職員)

講師の先生方からインターンシップに関して幅広い視点で知見が得られ、教育的効果の高いインターンシップについて基本的なことがイメージできた。また、自大学のインターンシップにおける課題を改めて認識でき、今後、取り組むべきことが明確になった。充実し、かつ示唆に富んだ講義内容から改めてインターンシップを大学で実施する意義を見出せ、さらに参加者間の交流で多くの気づきがあった。(地方公立大学・職員)

昨年度のアンケートより一部抜粋



【お問合せ先】

一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム 事務局
〒105-0004 東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル1号館 9階
(株式会社クオリティ・オブ・ライフ内)
e-mail : info@j-ciac.org

お問い合わせ、ご連絡はメールにてお願いします